# 会 議 議 事 録

1	会議名	令和6年度 第1回長岡市スポーツ推進審議会
2	開催日時	令和6年11月6日(水)14:00~16:00
3	開催場所	さいわいプラザ4階 教育委員会会議室
4	出席者名	委員:11名 野口剛委員長、田村万里子副委員長、中村真衣委員、 浅間光一委員、五十嵐洋美委員、佐藤研一郎委員、淡路 弘幸委員、野口富枝委員、三上徹人委員、石坂陽之介委 員、島田泰維委員 長岡市スポーツ協会(オブザーバー):2名 樺沢常務理事兼事務局長、室賀事務局次長 長岡市:9名 伊藤市民協働推進部長、中山スポーツ振興課長、大矢 課長補佐、渡辺係長、今井係長、坂井総括主査、池田主 査、名塚主事、豊田職員
5	欠席者名	1名(針谷美智子委員)
6	議題	1 「ささえるスポーツ」の推進における課題(協議) 2 スポーツ施設整備の今後の方向性について(報告) ・長岡市スポーツ施設ストック適正化計画 ・長岡ニュータウン運動公園野球場の整備と信濃川 河川敷運動施設の今後の方向性 3 令和7年度予算化に向けた主な事業について(報告)
7	審議結果の概要	・議題1について、各委員から意見が出された。協議内容を踏まえて事務局で今後の展開を検討することになった。 ・報告事項を資料に基づき説明した。

## 8 審議の内容

## 委員長

これより議題の審議を行います。

#### (議題)

「ささえるスポーツ」の推進における課題(事務局説明)

## ○○委員

市の取組みについて聞いたが、全然的外れ。こういう状況を超えている。寺泊では、園児が1学年10人もいないところがあり、あと5、6年もすれば小学校もなくなるのではないかと。いろいろ方策が書いてあるが、人口減少と共に地域スポーツを支える形は複数の支援団体を一本化するなど抜本的に組織を変えないと成り立たない。山古志や栃尾、寺泊では園児が10人、20人なんていうのはどこでもそういう状況。こういう状況でシュミレーションすると、存続できない形になってくる。こういう中でいろいろな取り組みをされるのもいいが、人材もいないし、やはり抜本的にやらないといけない。中学校のクラブ離れの話も聞いているし、ちょっと対応が遅いのでは。

## 委員長

課題はたくさんあるが、今〇〇さんがおっしゃったように少子化に対応したスポーツ推進の在り方だとか、少し絞って話した方がいいと思うが皆様いかがですか。

# ○○委員

国に準じているものでもいいが、長岡市としてスポーツの定義というのは公的に決まっているか。私個人の考えでは、競技があって、記録が残ったり勝敗がついたらなんでもスポーツかな、と。最近はeスポーツも出てきているし、個人的には将棋や囲碁もスポーツと言っていいのではくらいに思っている。

スポーツによって生み出される価値は、やるだけで生きがいに繋がる、健康維持に繋がる、まちづくり、子どもにとっては教育的な効果など様々あると思うが、スポーツ推進を通じてどういう価値を守り、伸ばそうとしているのかが、少し見えてこないと議論の土台が作りづらいのでは。あらゆるスポーツを支えるという支援推進はされて然るべきだと思うが、施策によっては全ての価値を生み出すわけではない種目や市の推進の方法があると思うので、何のためにスポーツ推進をしようとしているのか、整理しないと議論しにくいと思う。

### 事務局

国としては、人が楽しみ、よりよく生きるための自ら行う自

由な身体活動というのを定義にしているが、これをどうブレイクダウンして長岡市の実態に合わせた活動に推進していくかというのが推進計画。スポーツの実施率を上げたいというのは当然私ども一番の大儀だが、するスポーツで施策をかけても、やはり実施率は上がらない。例えばささえるスポーツの施策として、子育て支援サービス付きのプログラムを作ったり、親子で参加しやすいものに環境を整えたり、あるいは働き盛り世代についても、仕事が終わった後にスポーツができる環境、こちらはハードの部分も含めてですが、子育て世代や働き盛り世代にどうスポットを当てていくかというのをもう少し整理しないと次の段階の中ではなかなか実施率は上がらないと思っている。個人的な価値や、地域の活性化を生むような社会的な価値などいろんな定義があると思うが、現状もう少しきめ細かく整備していく必要がある考えている。

委員長

課題が見えてきたところで、ささえる人を増やすというところで、担い手不足、人口減少など地域コミュニティの意識の希薄化というのが原因だと思うが、何かこの辺でお考えあれば。地域で実践して指導者なり、運営を地域から人を募っている総合型から何かあれば。

○○委員

人口減少などローカルな形の中で国が推奨しているのは、総合型。真っ先に総合型という意識でやらないと、人口減少には立ち向かえないという気持ちがある。寺泊の総合型のクラブマネージャーが、草刈りから何から何までして地域スポーツを支えている。駅伝大会があったが、コースの草刈りも自ら行っていた。ローカルの世界では、みんなが協力する。

今、男の健康体操というものの申込みが増えてきた。コミュニケーションが増えて、一緒に飲みに行く団体も出てきた。これも総合型の一つの形だな、と。人口減少で人がいない寺泊で、ヒップホップは小学生70、80人いる。何十年もささえているので、高校生まで総合型を知っている。けれど、学校の先生は知らないという。行政と先生方は、総合型に対する理解があまりないのでは。そこにはローカルな問題が存在しているのではと思い、危機感を覚えている。

正直謝礼などは全然もらっていない。委託料だけ。こういう 面でも抜本的な対策があってもいいのではと思う。 委員長

人集めや指導者の確保について、提供する内容にもよると思うが特に指導者の確保について工夫されているところはあるか。

○○委員

クラブマネージャーがあちこちから呼んできている。

委員長

クラブマネージャーという核になる人が地域にいるという こと。Y-GETS はどうか。

○○委員

Y-GETS は総合型を離れてコミセンの中に入っているスポーツ部会というところで活動している。人口が700人程の山古志地域の中でスポーツ・運動というのを、どのように声をかければ体育館の稼働率があげられるか。そこから始まって、お昼や夜の時間帯に教室を計画しても来る人は決まっている。○○委員が言ったように何のためにスポーツを推進するのか、というのは本当に大きな課題だと思う。先月スポーツフェスタで子どもから年配の方もできる輪投げなどを行った。山古志では体育館に集まって何かスポーツをするという一体感があると思う。

山古志は子どもの人数が少ないので、団体スポーツができないというのがある。団体スポーツも経験させてあげたい、子どもたちが頼る場になりたいということで、私達の部会で相手をすることによって経験してもらう。高校へ行けば人数がいるので、野球やサッカーも出来ると思うが、人数が少ないと出来るスポーツが限られている、個人スポーツしか出来ない、というのを、どうすればスポーツによる感動や喜びを味わわせることができるか、そのお手伝いができればと思っている。

委員長

地域の人の参加は。

○○委員

イベントには一応450人くらい。人口の半分くらいですが、 ほとんどが地域外の方。スポーツだけではなく、出店も地域の 人の発表会もしたりして。どうすれば皆さんが体育館に足を運 んでくれるか。スポーツの会議で悪いですが、スポーツじゃな い部門、文化的なことも取り入れて。その中で意識してもらえ たらなと思って計画した。 委員長

そういう意味では、身体を動かすというよりコミュニティ作り。

○○委員

そうですね。

委員長

地域の役割というか、そういった部分も活用できる。

○○委員

だから人口減少はローカルでは大変なので、その場所を提供するにはどうしたらいいか。そういうのをここで議論してもらいたい。eスポーツも大事だが、そういう場所づくり、環境づくりは行政でないと出来ない。そういう提案をしたほうが盛り上がるのでは。

委員長

今はまだ継続してeスポーツをやってもらうけど、トップが 代わると考え方も変わってくる。そういった意味では、行政 の支援を得ながらも地域の力をつけていかなきゃ繋がらない という気はしている。

○○委員

市長はどう言っている。

事務局

スポーツ振興はひとつの大きな柱の中に考えていますし、地域コミュニティにも当然反映してきている。もちろん今、部活動の地域移行もありますが、そういったところは積極的に関わっていこうというスタンス。

委員長

今がチャンスといえばチャンス。推進委員も地域によっては 定員割れなどで、いわゆるささえる側の指導者不足というのが あるが、何か打開策や取り組んでいることはあるか。

副委員長

推進委員は小学校区で1名なんです、旧長岡は。小国や山古志では、地域で5、6人いる。深才コミュニティセンターは、私と才津地区の1人、あとは普及員と協力してやっている。先日も技大の方に協力いただいて、コミセンのふれあい祭りでeスポーツをやった。昨年もやったが、だんだん人が集まっている。今年は芋煮食べ比べを行ったら200数十名集まった。その集まった人の中でeスポーツを体験する人が多い。深沢と親沢でやった親深フェスタの中で、外でモルック、体育館でイン

ドアペタンクを企画したが子どもはたくさん来てくれて、高齢者も体験してくれた。

スポーツは推進委員と普及員が必要で、人数がいないと何も 出来ない。道具はスポーツ振興課でお借りしてやっていくとい う感じ。

委員長

とくに人材不足の部分で工夫されて、今事業されていると思う。そういった中でお世話をしてくれる人たちの手配が推進委員の役割になると思うが、その辺でもっとこうあると人は協力してくれるんだけどな、などそういった部分はなかったですか。

○○委員

いろいろ声かけするが、出てくださる方は同じ。

推進委員は新しいスポーツがあれば広めている。今回もモルック体験会を行ったが、集まった人数が少なかった。こういうのをもっと大きく出してやると、参加してくれるのではないか。モルックは普通の体育館ではなかなかできないので、使用できる場所が増えれば、人を集めることができるんではないかと思う。

○○委員

モルックというのは、寺泊の Love ビーチでもやったことがある。結構みんな一生懸命教えてくれる。

副委員長

ニュータウン運動公園の屋根付き多目的で大会があるんで すが、実際にやると楽しい。アオーレの真ん中で体験会をやる と、みんな見てくださっていいのかな。

委員長

人集めに大変効果があるということで、e スポーツが出てきた。○○さん自身が場を作ったり、実際にプレイするよりはお世話をして仲間を増やしていくなど段取りされているという認識ですがいかがですか。

○○委員

そうですね。e スポーツをやりたいというお話は結構あって。機材の貸出しは出来るが、現状一人で運営しているので出向くことが難しい部分があるので、ささえるコミュニティがあればと思う。機材の設定の仕方がわからない、助けてほしいという話を聞くが、それぞれの地区にゲーム好きの中学生高校生

は必ずいると思うので、そういう学生が手伝ってくれれば、勝手にささえるスポーツの一員になっていくと思う。こういう地域コミュニティからeスポーツをやりたいという声は多いが、先ほどの深才コミュニティセンターのように技大のサークルの方々のような手伝いがない限り難しいというのが現状。

委員長

一人で運営しているというところで、組織化みたいなお考え は。

○○委員

一応会社で運営をしている。県内の e スポーツ施設は、県内最初に長岡、うちが作ったんですが。新潟に2つ、上越に1つ、妙高に1つの計5か所ある。一応情報交換などの連携はとっているが、まだ組織化には至っていない。日本 e スポーツ連盟というのが全国にあるが、その下部組織として新潟 e スポーツ連盟を立ち上げている最中。

○○委員

寺泊はどこに入っているのか。

事務局

地域振興戦略部で栃尾と寺泊の体験ブースを試行的に作らせていただいている。

○○委員

連携はしていないのか。

○○委員

している。

委員長

ブラインドサッカーされていますが、特にお世話いただく 方、ボランティアについて活動中にこうあったらいいなという ことがあれば。

○○委員

私達は障がい者スポーツで活動しているが、障がいを持った 方と一緒にするということで、どうしても出来る出来ない、得 手不得手な部分がある。ささえてもらえる方が必要になる。た だ、健常者がメインでしているスポーツより、競技人口は圧倒 的にパラスポーツは少ないので、まず知っていただくという機 会が増えていくといいな、と。令和3年から長岡市から声をか けていただいてますが、年間県内20か所前後小中学校に伺って 体験会、普及活動をしている。そこでスポーツを知っていただ いて、そこから興味を持った方が障がいを持った方と触れ合うささえ方もあります。また、先日市内で大会をしたが、会場の設営などの部分のささえ方もあるので、携わるためにスポーツをする、見るという機会を増やしていただけるとありがたい。サッカーだけではなく、先ほどのモルックもですが、する場所ですね。場所に関しては、サッカーは蹴れればいいが車いすバスケになるとタイヤの跡が残るので使わせてもらえない体育館もある。パラスポーツはトータル的に制限をかけられることが多い。健常者と同じ形の扱いをしてくれる施設を作っていただけるとありがたいと思って普段活動している。

委員長

学校での取り組みでご意見あれば。

○○委員

まず教員という立場での話ですが、一番言いたいことは学校 体育を大事にしていただきたいということ。全ての基本が小学 校中学校に詰まっていると思っていることをご理解いただき たい。今のパラスポーツのお話ありましたが、車いすの方に来 ていただいて体験会を行った。オリンピックもあったので、教 員の意識も高く、何かパラスポーツを子どもたちに経験させて あげたい、と。今の教科体育自体が昔と随分変わってきていて、 するスポーツ、見守るスポーツ、ささえるスポーツのようなこ ともしっかり取りいれなさいというのがスポーツ庁の指導に ある。例えば1年生の体育は運動遊びなので、遊びの中から子 どもたちがいろんな道具を使ってするという、体づくり運動と いうものがあるんですが、先日2年生の学習を見ていたら、最 初に教師が作った場を経験していくが、自分達でアイデアを出 しながら共同で一緒に話をしながら場を作って行って盛り上 げる。そうすると、子どもたちは教師がしなさいと言わなくて も時間いっぱいやり続ける。へとへとになるまで汗を流してい る。これが本来の運動の楽しさ。運動を経験することの良さを 感じる瞬間なのかなと思っている、当然遊びから授業の指導に 入っていくが、かつて体育というと先生が指導する。やれとい ったことをやらせるというのが学校体育だったと思うが、今そ の考え方は変わってきている。若干している人もいるようだ が。

ボッチャという競技も子どもに体験させてあげたいということで指導者を呼んで3年生に体験させた。それで終わりにし

ないで自分達で作って、それを下学年に、全校に、さらには他 の学校の子を呼んでやるという風に発展していった。保護者も 呼んだが、それは何かというとスポーツの良さを理解して、楽 しい、これは自分達だけで終わらせてはいけない、どんどん広 げていきたいという思いが子どもたちにあったのではと思う。 自然と広げていくと、ささえる人達に変わっていくのでは。こ ういう積み重ねが非常に大事なので、学校体育に目を向けてい ただければありがたい。当然アルビレックスBBからも来てい ただいて体験会をやったし、スポーツ協会からも放課後のスポーツ指導をしていただいておりますが、学校に関わっていただ くことが次につながるのではないかと思う。

○○委員

今変えるチャンスだと話が出たが、部活動地域移行もそう。 学校の部活動は限界。長岡市が強力なリーダーシップのもと、 学校部活動を変えようとしている。そこに中体連も、とやって いるが初めてすることなので、決められていないことが多すぎ て、我々も不安の中やっている。でも進めなければいけないと いうことでやっている。先ほどの寺泊の総合型の話もありまし たが、地域のタイアップが出来ていけばと思う。種目ごとに地 域が違うが、今まさにそれをやろうとしていて、変換の時期。 我々意識改革をしないといけない。先ほど佐藤委員が言われた とおり、不適切な時代に育った私達はやらされていた。これか らの時代はやらされるのではなく、自分からやるという、ここ をチャンスと捉えて皆さんにご意見いただきながら進めてい きたいと思っている。

○○委員

今中学校でクラブ活動をやっている生徒は何割くらい。

○○委員

6割くらい。スポーツだけではなく、文化部も含めて。スポーツだとその半分くらい。

委員長

あと7割くらいは、スポーツに全然携わっていないという状況。

○○委員

自分達の子どもの時とは、様変わりしている。7割の生徒を 地域がささえなきゃいけないような形になる。そういう中で、 今クラブ移行の話が地域に全然下りてきていない。関心がなく なっている。以前も結構議論したが、来年という形の中で全然盛り上がっていないことを今日言おうと思っていた。これだけ大事なイベントが地域で盛り上がっていない。クラブやっている、運動やっているのは1割2割くらいでは、地域は盛り上がらない。

委員長

考えようによっては、広くいえば競技スポーツに関わっているのはそれくらいの認識で、裏を返せば残りの7割8割をどうやって引き出すか、それがするスポーツ、それから協力するささえるスポーツに変わってくると思うので、関わっていない子たちへどうするか。

○○委員

そういう議論が全然下りてこない。こうやって話せばやっているというが、小学生中学生の親に聞いても全然情報が入ってこない、と。

委員長

総合型にどういう情報がいっているかわからないが、競技団 体にもそうそう情報は来ていない。

○○委員

どこにも情報がいっていないのが、問題。

委員長

決まっていないことが多すぎて、出し切れないのでは。 ○○委員はどうか。

○○委員

本当に難しい問題だと思う。先日スポーツ立国協議会に参加したが、今スポーツ大会もどんどんなくなってきていて、スポーツに対する価値観であったり、考えというのは、これまでの枠にとらわれない。今までこうだったからこうじゃなきゃいなけないという価値観、考えを変えていかないといけない。学校の部活動地域移行も都心と地方では考えが全然違う。都心は指導者が多いが、地方では指導者が少ない。指導者がボランティアで動いてくれるかというと、そういう時代でもなく、業務にあたるにも旅費や交通費、1時間いくらなどそういう予算も国が決めていかなくてはいけないというのは感じている。学校体育の教育という部分も本当に学校や親だけの問題ではなく、〇〇さんも言われましたが、地域であったり、国が協力していかなければ教育という部分でもまとまっていかないのでは。今す

ぐ答えが出るわけではないが、変えていかないといけない。

一つ質問ですが、e スポーツで今度リバーサイド千秋で180名のイベントということだが、長岡市では大きなイベントになると思うがスタッフは1日で何名。

○○委員

定員が240名です。現在200名オーバーで応募がある。 スタッフは、長岡 e スポーツクラブから私、技大の e スポー ツサークルから8名、あとは TeNY から5名の計14名。

○○委員

240名というのは、イベントしても集まらない中ですごい。

○○委員

本当にいろんな方が参加してくれている。

個人的に感じていることだが、長岡eスポーツクラブを長岡駅の東口でやっているが、駅近くの学校の子ではなく、結構栃尾や滝谷、寺泊の子が来てくれている。近くに遊ぶ友達がいないので、eスポーツで友達とつながって遊んでいるという子が来る。

○○委員

外遊びというより、今の子はタブレット操作が主になっている。

○○委員

寺泊の方からも結構きてくれるが、バドミントンをやっている子が何人かきている。バドミントンは今人気のようだ。私の時代は野球やサッカー、バスケとかが人気だったが、1人でやる球技が人気らしい。私東北中出身なんですが、今どうかと父兄に聞くとバスケは全然人気がなくて。卓球やバドミントンが人気だと。やはり1人でするものが人気が出てきたな、と。eスポーツは、オンラインであれば簡単に仲間と繋がれるので一緒に団体で戦うことができるので、今eスポーツは人気にもなっているのかなと思う。

委員長

○○さん、何か意見は。

○○委員

支え手がないと維持できない問題って子育て世代が共働きが基本になっている中で、本来支えてきた層がいなくなっていることだと思うが、ささえるスポーツを振興してささえ手を増やそうといっても、同じ原因でうまくいかないのではという気

がしているのがひとつ目。あと対処療法感をすごく感じる。少年団がうまくいっていない理由は何なのかというところをきちんと分析してやらないといけないのでは。地域移行の話は〇〇さんの感じ方に同感。長岡は民間と市民と共同して発展させてきた歴史があるので、どうやって行こうと考えている時点から総合型だったり、事業としてやっているところなど地域にすでにある資源をどううまく使ったら子どもたちのためになるかというのを表の会議の前段で深く意見交換をさせていただいたほうがいいのでは。

委員長

はい、ありがとうございました。

1 「ささえるスポーツ」の推進の課題について、他にご意 見はないでしょうか。

(意見なし)

本日の協議内容を踏まえて、事務局で今後の展開を検討してほしい。

(議題)

- (1)スポーツ施設整備の今後の方向性について(報告)
- (2) 令和7年度予算化に向けた主な事業について(報告) (事務局説明)

委員長

何かご意見あれば。

○○委員

陸上競技場の改修工事は、いつ頃から始まるのか。

事務局

令和8年5月19日が満期になるので、令和7年度に必要な改修を行って再公認を受けることになる。実際に工事の方が入るのは、まだ調整中。

○○委員

移転廃止というのは、どこかへいって廃止になるのか。たくさん移転廃止と書いてあるが、受け皿があるのか。

事務局

実際にニュータウン運動公園の方をこの何年かで整備してきた。信濃川河川敷運動施設の野球場はこれまで水害で復旧費4億5,000万かかってしまっている。ニュータウン運動公園の野球場に人工芝を使用することによって、供用を早められたり、雨の日の回転率を上げたりして、河川敷の野球場等につい

ては最終的にニュータウンの方に移転するため、整備を進めている。

○○委員

同じことを言うが、寺泊は2月でも野球もサッカーもできる。天気の良い日は外にでていると汗をかいてくる。同じ長岡でもこうも違う。

事務局

寺泊海浜公園のスポーツ施設一帯については、今○○さんからお話あったように重要な拠点として意識を持っているので、地域での施設のバランスを見ながら検討していく。

○○委員

信濃川南部運動公園は移転廃止になっているが、もう一つ自由広場がある。野球場が移転廃止してしまうと、ここも一緒に使えなくなるのか。

事務局

複数施設を運営していくには財政的に問題がある。調整する 部分は出てくると思うが、原則としては今の河川敷の運動施設 についてはニュータウンの方へ移転して、縮小廃止していくこ とで考えている。

自由広場については、種目としての野球の利用場所をニュータウンにするのとは別に信濃川の右岸左岸それぞれで広場に残すことは検討している。

○○委員

予算について数字を出せるタイミングがあると思うが、できればハード事業の規模感、あるいは口頭でもいいので事業規模を一般財源ベースで伺えたほうがよい。次回以降で。

委員長

全体を通して、いわゆるスポーツ振興推進に関して何かご意 見あれば。

事務局

貴重なご意見ありがとうございました。

今回委員の改選もあったところで、この審議会として何をどうするという目的をもう少ししっかりと話すべきだ、と。当然部活動地域移行については、別の委員会でもやっているが、情報提供できればと反省している。次回お示しできるところはしっかりと丁寧にさせていただきたい。いろいろ不足があり、申し訳ございませんでした。

## 委員長

本当に範囲が広すぎて、何をどういうふうに議論していいかというのが非常に悩ましい。予算もあるだろうが、審議会の回数を小分けにしてもらって、話のポイントをある程度決めた中で、集中的に議論する方が委員の皆さんの意見ももっと出るのでは。年2回開催だと思うが、もう1回増やすとか。ご検討いただければ。御協力ありがとうございました。

(1) スポーツ施設整備の今後の方向性について、(2) 令和7年度予算化に向けた主な事業の報告について、他に意見はないでしょうか。

(意見なし)

報告事項については以上とします。

## 事務局

この審議会を母体にして次の10年間のスポーツ推進計画を 立てていく必要がある。今後の策定作業については、引き続き 皆様にご協力をお願いしたい。

## 委員長

以上で、審議を終わります。

9 会議資料

別添のとおり